

## 特殊詐欺等の防止を推進します

◎特殊詐欺等防止推進リーダー委嘱式

委嘱状を受け取る松尾さん



1月17日、宇和島警察署で特殊詐欺等防止推進リーダーの委嘱式が行われ、鬼北町民生児童委員協議会会長の松尾喜代志さん・近永さんが「特殊詐欺等防止推進リーダー」に委嘱されました。

この取り組みは、警察と民生児童委員が協力し、高齢者被害の犯罪等を未然に防止することにより、高齢者が安全・安心に暮らせる地域社会の実現を目指すことを目的としています。

今後、鬼北町民生児童委員協議会では、町内49人の民生児童委員が日頃の訪問活動などを通して、町民の皆さんに注意喚起を行っていきます。

## 高く舞う炎に願いを込めて

◎愛治地区どんど焼き

雪が舞う中、豪快に燃え上がるやぐら



正月に飾っていたしめ飾りやお守りなどを燃やし、正月の神様を空に送るとされている「どんど焼き」は1月15日、愛治地区で行われました。

毎年、町内各地区で行われている「どんど焼き」。その煙にあたり、1年間健康に過ごすとができると言われています。

神事が執り行われた後、早速、代表者たちが火入れを行うと、やぐらは竹が弾ける大きな破裂音とともに、瞬く間に燃え上がりました。参加した人たちは、その炎に手を合わせ、今年1年の無病息災、五穀豊穡や家内安全を祈願していました。

## 明星ヶ丘のシンボルとして

◎井谷家住宅土地売買契約調印式

契約書に署名をする井谷さん



1月23日、鬼北町役場日吉支所で、国登録有形文化財・井谷家住宅土地売買契約調印式が行われました。

調印式では、松山市在住の井谷義彦さん、横浜市在住の黒川すみれさんの所有する、土地1,499㎡にかかる売買契約を締結。また、井谷家住宅の主屋、蔵および所蔵資料については、井谷義彦氏から当町へ寄付の申し出があり、併せて目録の贈呈が行われました。

今後、町では井谷家住宅を「明星ヶ丘のシンボル」として保存し、鬼北の文化の発信拠点として活用を検討していきます。

## 和紙作りの大変さ、身を持って体感

◎大人のための手漉き和紙体験教室

はがき作りに挑戦する参加者



「大人のための手漉き和紙体験教室」は1月22日、小倉コミュニティセンター内の作業所で行われました。

この教室は和紙作りが最も盛んな冬のシーズンに併せて、鬼北泉貨紙保存会が主催したもの。まず、平野邦彦会長が手漉き和紙の歴史や豆知識などについて紹介。その後、参加者たちは伝統的な手法で、和紙作りに挑戦しました。

今回参加者たちが作ったのは、「はがき」と手漉き和紙に水をかけて模様をつける「落水紙」。参加者たちは慣れない動きに悪戦苦闘しながらも、終始楽しそうに手を動かしていました。